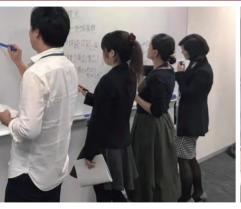


チェンジ・メイカー育成プログラム (第3期) 舞台は海と山に囲まれた温泉と食の宝庫 「長崎県雲仙市」

雲仙の観光・地域産業活性をテーマに、学び 現地フィールドワークと事業者との対話から 価値ある提案を紡ぎ出す3カ月間のプログラム





チェンジ・メイカー育成プログラム(第3期)

主催:立命館東京キャンパス

共催: ジャパンラーニング株式会社

協力:長崎県 / 長崎県雲仙市 / 雲仙市の様々な事業者の皆様





立命館 東京

Q 詳しくは 立命館 東京 で【検索】

経済産業省「未来の教室」リカレント教育ワーキンググループ

-越境学習による VUCA 時代の企業人材育成-

本プログラムは、経済産業省「未来の教室」実証事業の後継で、今回で3期目を迎えます。

経済産業省では、これからの時代に求められる人材像を「課題解決型のチェンジ・メーカー」と整理し、

2018年~2019年において、現実の社会課題を題材としたリカレント教育プログラム開発・実証事業を実施しました。プログラムのコンセプトとして「越境学習(*1)」に着目。

その重要な要素として、「社会課題の現場」「摩擦」「多様なステークホルダー」の3点を整理しています。

「社会課題の現場への越境学習」プログラム 3つの要素

社会課題の現場

ビジネスパーソンにとって日々のビジネスの現場を離れ、社会課題に取り組む地方や NPO の現場に越境することで、異なる価値観やスピード感等の非日常体験を得られる。

摩擦

社会課題の現場に対して価値提供をしようとする際に「摩擦」が生じ、課題設定や自分の価値観を問い直す内省が促進される。摩擦は、社会課題の現場の人々や他の受講者とのぶつかり合い、伴走者からの問いかけ、自分の中での葛藤によって生じ、この過程を経ることで自分自身の軸を明確にすることができる。

多様なステークホルダー

良質な越境学習の場としての社会課題の現場には、課題に取り組むリーダーや伴走者が存在する。 これらの多様なステークホルダーの情熱に触れることで志が磨かれる。

(*1)越境学習

「越境学習」とは、所属する組織の枠を越え("越境"し)、自分にとってのホームとアウェイを行き来することによって学ぶこと。 イノベーション創出やキャリア自律に繋がることが期待されている。

「チェンジ・メイカー」とは、課題の本質を見極め、

様々な分野の個人・組織の力を集めて試行錯誤を繰り返し、状況を変化させられることができる人――

今回は、長崎県雲仙市の協力を得て、東京での事前ワーク・セッションと現地でのフィールドワークを通して実際の企業や地域の課題を探り、限られた期間の中で、合意形成と解決策の提案へとつなげる実践的な PBL(*2) を実施します。受講生たちはチームを組み、異なる価値観の仲間との議論の整理・融合を通して、一人ひとりが「チェンジ・メイカー」になることを目指す実践型の人材育成プログラムです。



(*2)PBL

PBL(Project-Based Learning)課題解決型学習。

知識教授のための受身の学習ではなく、自ら課題の発見・設定から、解決することを通じて学ぶ学習法。



今回のフィールドは海と山に囲まれた温泉と食の宝庫「長崎県雲仙市」

2大産業の農業と観光、素晴らしい魅力がある一方、プレーヤー不足、ノウハウ不足で生かし切れていない

701年、奈良時代の開山以来、多くの信仰や旅人、湯治客を受け入れてきた雲の上の避暑地、雲仙温泉。昭和9年には日本で最初の国立公園に指定されました。

地球の鼓動のようにふつふつと湧き出る温泉、神秘的な山々、夜明けとともに聞こえる心地よい鳥の声。国内外を問わず、多くの人の生きる力をよみがえらせてきました。

一方で、人口減少に伴う地域活力の低下や、宿泊客の減少など多くの課題を抱えています。 1300年の信仰と、受け継がれてきた豊かな土地の資産を、大切に守り育て伝えながら、新たな切り口で表現し、これまでにない価値を創造する。

雲仙はいま、大きな変革期を迎えています。



魅力

- ●長崎県一の農業生産高
- ●世界でも稀な食材の生産集積地(オーガニック、伝統野菜)
- ●普賢岳山頂1400m~海0mまでが一つの自治体に
- ●山頂域は日本初の国立公園
- ●周囲は性格の違う2つの海(遠浅の有明海、急に深い橘湾)
- ●火山の恵みでもたらされた、温泉街や肥沃な農業地帯
- ●自然と人が共に作り上げてきた景観や暮らしや信仰がある

課題

- 観光関係者(宿泊施設、飲食・土産店、観光協会等)の業務の効率化や 誘客にかかる課題
- 観光と一次産業の連携、観光の域内波及効果向上にかかる課題
- 持続可能な観光地域づくりを推進する組織(DMO)の構築及び 効果的な運営にかかる課題 など

現地事業者が抱える「モヤモヤ」を聞き、対話しながら具体化していきます。









プログラム前後での EQ 行動特性の測定とキャリアコンサルタントによる面談

EQ(Emotional Intelligence Quotient)とは? 感情の知性、こころの知能指数ともいわれています。

自分と他者の気持ちがわかり、感情を上手く調整する能力、

「この人なら信頼できる、一緒に仕事がしたい」と思わせる人間的な魅力とも言い換えられます。 ジャパンラーニング社が提供するJapan EQとEQトレーニングを活用し、普段と異なる環境での活動、地域との対話、多様な価値観との触れ合いなどを通して、行動特性にどのような変化が生まれるか、プログラム前後の変化を数値化し、成果を検証します。

希望者にはキャリア面談も実施いたします。



●コーディネーター・アドバイザー



統括コーディネーター 齋藤 雅通 立命館大学 経営学部 特任教授



アドバイザー 加来 勝正 ジャパンラーニング株式会社 代表



レクチャー&アドバイザー 石崎 祥之 立命館大学 経営学部 教授



ファシリテーター 酒井 章 弑針クリエイティブ・ジャーニー 代表



サブファシリテーター 八住 敦之 ピラミッド計画 代表



FW コーディネーター加来 司 ジャパンラーニング株式会社 九州支部

プログラム概要

●日程 2022年1月~3月 全8回

スケジュール	開催日時	開催場所	概要	
セッション 1	1/15(±)13:00-18:00	立命館東京キャンパス	【キックオフ】	①開講式 ②基礎講義 ③EQ結果解説 ④チームビルディング
セッション 2	1/20(木)19:00-21:30	立命館東京キャンパス※1	【課題理解と発見】	①課題を深めるミニ講義 ②チーム活動 ③全体のシェア
セッション 3	1/27(木)19:00-21:30	立命館東京キャンパス※1	【課題設定と解決策検討】	①課題を深めるミニ講義 ②チーム活動 ③全体のシェア
セッション 4	2/4 (金) ~ 2/6 (日)	長崎県雲仙市	【長崎県雲仙フィールドワーク】	】詳細は別途連絡します
セッション 5	2/17(木)19:00-21:30	立命館東京キャンパス※1	【解決策検証】	①FWの成果共有 ②チーム活動 ③全体シェア
セッション 6	2/24(木)19:00-21:30	立命館東京キャンパス※1	【プレ発表】	①プレプレゼンテーション ②意見交換 ③チーム活動
セッション 7	3/3 (木) 19:00-21:30	立命館東京キャンパス※1	【検討と修正】	①チーム進捗報告 ②チーム活動 ③全体シェア
セッション 8	3/12(±)13:00-17:00	調整中(東京or雲仙)	【成果報告会】	①チームによるプレゼンテーション ②講評 ③感想シェア
(ポストセッション)	3/17(木)19:00-20:30	立命館東京キャンパス※1	【リフレクション】	①「EQポスト受検」結果フィードバック ②チームでのリフレクション

・新型コロナウイルス感染症拡大等の影響によりプログラムの一部を変更することがあります。

※1 遠隔地からのオンライン参加も可能です。

・「EQの受検」については プレ (12/20頃) 、ポスト (3/15頃) の2回を予定 (WEB回答) します。

●受講料

- ・1 名につき 148,000円
- ・長崎雲仙フィールドワークの2泊3日の宿泊費を含む。
- ・現地(長崎県雲仙市)までの交通費は各自別途負担となります。

●募集人数

・36名

●申込締切

締切日: 2021年12月10日

●申し込み方法

別紙の「受講申込書」を利用してください。 メールまたは FAX にて、受講申込書をお送りください。 立命館東京キャンパス「チェンジ・メイカー育成プログラム」事務局 宛 メール【 tokyo-kz@st.ritsumei.ac.jp 】 F A X【 03-5224-8189 】

※受講申込書の項目をメール本文中にご記載の上お送り頂いても結構です。

※受講申込書を受信後、事務局から詳細についてご連絡いたします。

●ご参加頂きたい方

- ・次期ビジネスリーダー候補人材
- ・新規事業開発に取り組んでいる、あるいは取り組みたい方
- ・DXやSDGs事業に取り組んでいる、あるいは取り組みたい方
- ・自分自身や日常業務に変革を生み出したい方
- ・地域との繋がりや新しい価値観を取り入れたい方 など

●問い合わせ先

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-7-12 サピアタワー 8 階立命館東京キャンパス「チェンジ・メイカー育成プログラム」事務局

メール: tokyo-kz@st.ritsumei.ac.jp

TEL: 03-5224-8188 (月曜日~金曜日 9:00~17:30)

●過去受講生の声

チームメンバーの得意不得意をお互いが把握し、悩みながらも問題 解決に向けて活動する経験ができました。

これから講座を受けようと思っている方は、この講座を通して、企画、プレゼン、現場視察、提案など一連の流れを経験できるよい機会だと思います。挑戦する気持ちと楽しむ気持ちをもって取り組むことをおすすめします。他職種の人と関わることができる良い機会です。積極的に取り組むことで世界が広がります。

(ソフトウェア開発企業勤務 A・K さん)



このプログラムでは、全体講義や事前学習を通じてチームで協力して問題解決に取り組んでいきます。チームは様々な背景を持つ方と組みますので、自分が働いている業界や職種にはない考え方や知見をもとに議論を重ねることができ、新たな気付きや発見が生まれ、視野を広げることができます。チームで議論を重ね、ひとつの方向へ進んでいく一体感と、自分とメンバーの成長を感じながら問題解決に取り組む貴重な経験ができる、良いプログラムだと思います。 (教育・人材開発系企業勤務 M・Bさん)



本プログラムは、2018 年度経済産業省「未来の教室」実証事業・採択プログラムの後継プログラムです。 立命館の取り組みは SDGs(Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)の目標達成に寄与しています。







●主催



●共催



ジャパンラーニンク株式会社 〒103-0027 東京都中央区日本橋 2-1-3 TEL.03(3548)3037 FAX.03(3548)3038

チェンジ・メイカー育成プログラム(第3期)

主催:立命館東京キャンパス 共催:ジャパンラーニング株式会社

1 課題を探る

長崎県雲仙市の基礎資料を読み、レクチャーを受けて、様々な角度から社会課題について考えます。

- プログラム開始前にEQを受検して自分の特徴を知り、プログラムへの参加目標を立てます。
- プログラム開始前〜前半にかけては、ビジネスで有用なオンライン教材などを使用しながら、自主的な 学習も進めていただきます。

2 チームで挑む

5~6名で1つのチームを作り、チームごとに課題に取り組んでいきます。

- PBLで取り組む課題の分野(例:「観光産業」「一次産業」など)は、事前にアンケートを行い、ある程度受講者の希望にそってチームを作ります。
- 各チームは「Slack *」のチャンネルを使って、意見交換、資料作成など情報を共有します。
 *メッセージブラットフォーム

3 ゴールを目指す

セッションごとに、チームで『課題を設定 → 仮説を立てる → 解決策の検討 → 実現可能な提案づくり』 をサイクルとして繰り返しながら、精緻化をはかり、解決策を検討していきます。

- 前半のセッションでは、地域振興や観光開発についての講義があります。
- 東京キャンパスでのセッションでは、個人ワークの擦り合わせやチームでのディスカッション・合意形成などを行いながら進めていきます。
- 各セッションごとに、受講者は「リフレクションペーパー」を作成し、ファシリテーターがフィードバックを 行います。
- チームごとに、現地事業者(サポーター)や他のチームからのアドバイスを受けます。

現地での フィールドワーク

セッション4では、現地(長崎県雲仙市)に赴いてリサーチを行い、現地事業者と対話します。フィールドワークはチームによる活動です。 他チームとの交流・意見交換の時間もあります。

ファシリテーターの サポート

ファシリテーターが、セッションの進行と受講者のサポートをします。

教員による オフィスアワー

セッションの途中で、チームごとにオフィスアワーを設定し、担当教員が課題解決 にむけてサポートします。

4 成果報告会

各チームが取り組んだ内容についてプレゼンテーションを行い、関係者の方々から評価・コメントをいただきます。

EQテスト、キャリア面談

プログラム終了後に2回目のEQテストを行い、プログラム前との変化を数値化し、成果を検証します。 希望者には、キャリア面談も実施します。

チェンジ・メイカー育成プログラム【Q&A】

Q1 このプログラムで身につくスキルや能力は何ですか。

▲ 職場や社会で「チェンジ・メイカー」として活躍できる能力を育成します。 未知の課題に対して、深く考え抜く力、コミュニケーション力、具体的なアウトプット力など、 これらは今の時代に必要な課題の本質を見極めるスキルでもあります。

Q2 このプログラムは単位となる大学の正課の授業ですか。

⚠ 社会人リカレント教育の特別プログラムとして開講しますので、大学の単位認定外の課外プログラムです。 但し、すべての課題等を提出された方には大学から「プログラム修了証」を発行します。

O3 授業スケジュールにあるセッション以外での学習時間はどれくらいありますか。

▲ 個人での講義(オンデマンド)受講、リサーチ活動、グループでの打合せなど、学びの時間が必要です。 いずれも日常の仕事に影響のない範囲で取り組んでいただけると思います。

Q4 「PBL」で取り組むテーマは指定されるのでしょうか?

⚠ 大きなフレームで社会課題となるテーマを事前に提示します。受講者はテーマを選択することができるようにする予定です。1つのテーマで5~6名でチームをつくります。

05 ひとつの企業・団体から複数名の申し込みはできますか。

▲ はい。2名以上の受講も可能です。上限人数については事務局にお問合せください。

06 首都圏以外の遠隔地からの受講も可能ですか。

▲ セッション1(開講日)、セッション4(長崎フィールドワーク)、セッション8(成果報告会)は 対面での参加が必須です。その他のセッション(平日夜間)は遠隔地からのオンライン参加も可能です。

Q7 受講開始までに準備するものはありますか。

▲ カメラ付きPCとインターネット回線は各自でご準備ください。 また、メッセージプラットフォームの「Slack」を使いますので慣れておくと安心です。 必須のテキストや教材はありませんが、受講開始日までに必要な情報(参考文献や資料)を提示します。

08 やむを得ず講座に出席できない日はどうなりますか。

⚠ 仕事の都合等で教室での参加が難しい場合、平日夜間のセッションであればZOOM接続による遠隔出席も可能です。また、チーム内でお互いをフォローすることも視野にいれながらセッションを進めます。

Q9 EQテストやキャリア面談には別途費用はかかりますか。

▲ EQテストとキャリア面談の費用は受講料に含まれます。 なお、EQテストはWEB回答、キャリア面談は対面又は遠隔(ZOOM)で実施予定です。

Q10 プログラム途中でキャンセルした場合はどうなりますか。

会講開始後の途中キャンセルについては返金の対象とはなりません。プログラムの進行上何か不安な点などありましたら事務局にご相談ください。

Q11 講座の内容や受講生の写真などはHPやSNS等に公開されますか。

△ 個人情報については「学校法人立命館 個人情報保護基本方針」に基づき適正に管理します。 受講風景などの写真は受講生の許可を得てHPやSNSで発信する予定です。

〈参考となるHP〉

- 経済産業省 越境学習によるVUCA時代の企業人材育成 https://www.learning-innovation.go.jp/recurrent/
- 雲仙市 第 2 次雲仙市総合計画 http://www.city.unzen.nagasaki.jp/info/prev.asp?fol_id=26028